



うりゅう

# こんにちは 議会です

発行／雨竜町議会 編集／議会広報広聴特別委員会



(1/10 雨竜町子ども育成連冬季レク大会)

No.224  
2026.2

- 一般質問 2名の議員が質問 ..... P2~3
- 定例会及び臨時会の審議結果 ..... P4~6
- 行政常任委員会所管事務調査報告 ..... P7
- 中学生議会開催 ..... P8~9

# 令和7年第4回定例会一般質問

12月の田川2名の議員が町政執行に対し、

一般質問をしました  
（内容を一部要約）  
しております



野村議員

問 熊対策における

現状認識と危機管理

答 雨竜町緊急銃獣対応マニュアルに沿って関係団体と連携を密にし、住民の安心安全を図る

質問

道内のヒグマの推定生息数は、1万1661頭と、30年間で2倍となっており、熊の被害は全国各地で起きている状況です。人を怖がらず、市街地にも出没する「アーバンベア」の増加もあり、人を襲うケースが後を絶ちません。鳥獣保護管理法が改正となり、市町村長の許可があれば市街地でも発砲できる緊急銃獣制度が創設されました。が、緊急銃獣について

町長はどうのような考え方のか伺い

ます。

町長

従来の鳥獣保護管理法では、住宅集合地域等では銃器による鳥獣の捕獲等を禁じられてきましたが、法改正により、市街地に侵入した熊を市町村の判断で銃による駆除ができる緊急銃獣が可能となりました。所管する環境省では、「7月に緊急銃獣ガイドラインを発出し、「人の日常生活圏への侵入または侵入するおそれがある」「人への危害を防止する措置が緊急に必要である」「銃獣以外での方法では的確かつ迅速な捕獲が困難である」「住民や第三者に銃獣による危険が及びおそれがない」この4つの条件が満たされている場合に銃による駆除をすることができる」とことになっております。このガイドラインに基づきまして本町では雨竜町の緊急銃獣対応マニュアルというのを作成しております。

実際に本町において熊が出没した際、迅速な対応ができるのか、住民の皆さん的安全を確保した上で流れ弾や跳弾などの防止、避難誘導など、市街地の発砲は極めてリスクが高く、非常に難しい判断が迫られるとしています。現在本町獣友会では、6名の会員が活動していただいており、この緊急銃獣に対しましては、地元の獣友会の協力が欠かせない中、メンバーの皆さんの不安が拭い切れていないという状況にあります。各

地で熊の出没が相次ぎ、人身被害も発生し、個々の自治体での対応は限界に来ているとして、町大会、市長会、北海道の連名で環境省に対してヒグマ対策に係る要請を行つており、全国町村長大会においても緊急銃獣に備えて国主体で講習会や訓練を行うように求められた。緊急の要望書が採択されています。既に緊急銃獣が行われた自治体の例などを参考に、今後は北海道、警察、獣友会と連携しながら慎重に対応していきたい。

人身事故はもとより、農作物の被害防止のためにも町が作成して全戸配布しましたパンフレットを活用しながら目撃や足跡を発見した場合は通報を呼びかけてその情報に基づき周辺住民の方々への注意喚起を行つていているところであります。また、ヒグマの移動経路の推定、そのほか出没要因の特定を獣友会と共に現地調査を行い、今現在センサーカメラと箱わなを設置し、市街地へ侵入することなく山間部と市街地の境界線において駆除をするための対応、対策をこれまで以上に進め、人身被害や農作物被害の防止を図つてまいります。

取組や講習会等、被害を未然に防ぐ対策が必要ではないかと考えるが再度伺う。

町長

被害を防止するためには日頃から近づかない、寄せつけない、そういう行動が効果的であり、重要な行動が効果的であり、重要なリスクが高まると考えております。特に食べ物やごみを放置しない、不注意に刺激をしないという管理と対策が必要になってくるというふうに思っております。

再質問

緊急銃獣が行われないよう、熊の目撃情報の周知を徹底し、各関係機関による情報を共有、被害に遭わない、遭わせない持続可能な

講習会の開催については十分検討していきたい。

町長 平成4年度から若者の地元就職を持ち家などを促進するために、雨竜町定住促進事業を始めました。人口減少が続いていることから、平成14年度、24年度と新たに10年

答 移住定住の促進に繋がるの  
であれば、定住政策が前に  
進むよう、関係機関団体と  
も十分調整して、制度設計  
していきたい

質問

定住促進事業の持ち家定住促進  
事業は、新築、リフォーム工事で  
限度額の範囲内で工事費の10%を  
奨励しています。

近年、諸般の事情で建築工事費  
が急騰しており、新築やリフォーム  
を悩んでおられる方もいます。  
また、新築に限り、町外業者で  
も事業の対象にする考え方はないか  
伺います。



沖田議員

事業として内容を見直しながら今まで継続しています。平成24年度からは、雨竜町田園の里定住促進条例として、特に持ち家奨励の補助率を大きくしており、今現在の住まいの定住促進事業は、令和4年度にスタートしております。

新築住宅及び住宅リフォームの工事請負代金の10%、新築は300万円、リフォームは100万円を上限としております。最近ではリフォームの工事が多く、令和4年度に7件、5年度に5件、6年度に3件、7年度は4件の交付をしています。新築では、令和4年度から6年度の間で6件ありましたが、対象事業ではなく今年度において1件のみがありました。

定住を促進する目的と、町内の商工業、地域経済の振興を図る趣旨であることをご理解いただきたい。近年の建築工事単価等の上昇については十分承知していますが奨励金としての支援効果は一定程度の成果があつたと考えております。

町長 定住促進策としての役割を果たしていくために、現行制度の限度額とか、事業者の選択肢を広げることで、特に新築住宅を持つて定住を考えている方の後押しになることは理解します。一方で地域経済振興を図ることも事業の目的の一つです。長年地元の建設関連事業者を対象としてきておりますので、関係団体の理解も必要と考えます。

制度や事業を検証して、町民の皆さんの一ี次にどのようにこたえていくのがよいのか、考えていきたい。

断でもあり、買い物でもあることから、新築に限って町内、町外、差額は生じても、限度額の増額は建て主の趣旨思考を大切にし、悩んでいる方への後押しにつながると考え、再度伺います。

令和8年4月、新しい町の総合計画がスタートします。この計画案には、移住定住の促進を大きな政策の一つに掲げております。

奨励金の増額や、対象事業を拡大することが移住定住につながることであれば、参考にして定住政策が前に進むよう、関係機関団体とも十分調整して、制度設計をしていきたい。



### ことぶき団地4区画分讓宝地

住宅の新築について悩む時期は  
若い時であり、そのタイミングは  
長くありません。年々工事費が上  
がっていく今、町内町外問わず持  
ち家に対する気運が高まれば、若  
者に希望が持てる政策と考え、今  
一度伺います。

# 令和7年 第4回定例会 審議結果

(開催日程：令和7年12月9日)

議案番号	議 件 名	結 果
第59号	専決処分した事件の承認について 「令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第4号）」	承 認
第60号	議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (議会議員の期末手当の支給月数を改正するもの)	原 案 可 決
第61号	特別職給料額等支給条例の一部を改正する条例の制定について (特別職の期末手当の支給月数を改正するもの)	原 案 可 決
第62号	雨竜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について (国家公務員の給与改定等に準じ、本条例を改正するもの)	原 案 可 決
第63号	令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第5号）	原 案 可 決
第64号	令和7年度雨竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） (80万2千円を追加し、総額1億3,429万7千円とする)	原 案 可 決
第65号	令和7年度雨竜町農業集落排水事業会計補正予算（第2号） (収益的収入4,413千円を追加、収益的支出323千円を追加)	原 案 可 決
第66号	雨竜町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (雨竜町第2満寿団地解体工事の竣工に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
第67号	雨竜町道路線の認定について (雨竜町道路線を認定するため、議会の議決を求めるもの)	原 案 可 決
第68号	雨竜町ジュニアスクールを管理する指定管理者の指定について (地方自治法の規定に基づき、雨竜町ジュニアスクールの管理を指定管理者に指定したいので議会の議決を求めるもの)	原 案 可 決
第69号	雨竜町監査委員の選任につき同意を求めることについて (木村 幸一 氏 再任)	同 意 可 決

議案番号	議 件	名	結 果
第70号	雨竜町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて (酒井 美恵子 氏 新任)		同 意 可 決
第71号	滝川市の公の施設の雨竜町民の利用について (滝川教育支援センターを雨竜町民が利用するための協定書の締結について、議会の議決を求めるもの)		原 案 可 決
発 議 第 2 号	雨竜町議会議員定数等検討特別委員会設置に関する決議について		原 案 可 決

## 令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第4号）

2億6,675万円を追加し、総額42億126万8千円とする（P.4議案第59号の歳出の主な内容）

企 画 費	ふるさと納税返礼品代及び取扱等手数料	63,000,000円
企 画 費	ふるさと創生基金積立金	178,000,000円

## 令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第5号）

3,525万1千円を追加し、総額42億3,651万9千円とする（P.4議案第63号の歳出の主な内容）

総務費	町有バス購入費	13,100,000円
民生費	シルバーハウス指定管理費及び施設改修等工事費	6,802,000円
民生費	冬季生活支援給付費	1,000,000円

### 議案第63号 令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第5号）～債務負担行為補正～

### 中空知生活交通確保対策負担金への質疑応答

《質疑》木村議員

債務負担行為による今回の補正予算は、空知中央バスが「深滝線」に運行するバスの購入費を、沿線自治体がそれぞれ負担するものだが、「深滝線」においては毎年度運行経費を負担し、路線を維持・確保している。今回の車両購入により、バス運行の継続が確約されるのか。

《答弁》総務課長

今回のバス購入は現在運行している車両の老朽化によるもので、更新しなければ現状の運行に支障をきたすものである。また、路線維持に係る本町の負担金については、細部にわたり沿線自治体2市2町と協議し、今後とも路線の維持・確保に努めていく。

# 令和8年 第1回臨時会 審議結果

(開催日程：令和8年1月15日)

議案番号	議件名	結果
第1号	令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第6号）	原案可決

## 令和7年度雨竜町一般会計補正予算（第6号）

1億5,748万8千円を追加し、総額43億9,400万7千円とする（P.6議案第1号の歳出の主な内容）

企画費	ふるさと納税返礼品代及び取扱等手数料	20,500,000円
企画費	ふるさと創生基金積立金	72,600,000円
民生費	物価高対応子育て応援手当	4,700,000円
商工振興費	物価高騰対応重点支援商品券配布事務取扱委託料	41,053,000円
商工振興費	うりゅうにぎわいUP事業補助金	4,800,000円

随時募集中

出張!! 議員とカフェ

みなさんのお話  
聞かせてください

令和7年11月5日（水）に開催された「追分サロン」にて、初めて出張カフェを行いました。

<主な意見>

- ・町内に食料品店がないが、今後の見通しは
- ・冬季間 公民館おいでサロンに送迎してほしい
- ・第二分団消防施設回りの草刈りはどうなっているのか
- ・公営住宅で隣が空き家の屋根雪が心配だ ・・・など

時間も限られた中、様々な意見を聞かせていただきました。  
大変ありがとうございました。



こんな時はお申し込みを！！

町政について思いを伝える場所がない・・・

議員と話をしたいけれど、どこに行けばいいかわからない・・・

3人以上の町民や町内で働く方、各団体など町内のどこでも議員  
が伺います。テーマは自由です。お申し込みの際にお伝えください。

～申し込み先～

雨竜町議会事務局

TEL : 77-2215

# 行政 常任 委員会 レポート

定例会までの閉会中  
に行った所管事務調査の内容を報告いた  
します。

11/19  
～20

## <調査項目>

学校施設の現状と今度の環境整備（教育委員会所管）

現在の雨竜町立学校の校舎は平成23年から25年にかけて体育館の新築、校舎の増改築、耐震補強、各設備の大規模改修工事を実施し、平成26年に小学校・中学校併設校として開校されたが、暖房器具は10年以上使用されており、メーカーの部品供給が難しい状況での対応となっている。令和3年にはエアコンの設置により、猛暑にも対応した学習環境が整備されており、今後は今ある設備を長期的に利用するためにも、計画的な維持管理が必要になってくる。

GIGAスクール構想により、令和2年度からICTを活用した教育として、一人一台のタブレット端末を使用しているが、今年度端末の更新をむかえ、ハード面の整備を進めしており、合わせてソフト面においても計画的に対応していくべきである。

児童数の減少により、複式学級も考えられるが、単式学級の維持のためにも、予算と教員の確保が必要であり、保護者の要望を充分取り入れた上で対応されたい。



校舎建設後50年以上経過し、将来的に大規模改修工事もしくは、建替え等を検討し、行政として早い時期に方向性を決めて進めていくべきである。建替えの場合は、建設場所も含めた中で施設の規模、また、現在の小中一貫型の教育、あるいは義務教育学校の新設等の検討を充分され、引き続き子ども達が安全・安心に学校生活を送れるよう取り進められたい。

## <調査項目への質問(抜粋)>

《質問》須見委員・吉本委員

暖房機の更新においては、今後のメンテナンス性を考えた暖房機の選定が必要では

《回答》

不具合が少なく、対応がしやすい暖房機の選定を進めていく

《質問》沖田委員

現在の校舎を大改修や校舎の建替えを含め、早急に対応を考えていかなければならぬのでは

《回答》

建替えを含め、次期振興計画の中の後期に向け、早めに検討を進めていきたい

# 中学生議会開催

令和7年12月16日に雨竜中学校3年生による中学生議会を開催しました。中学生20名が4つのグループに分かれ、雨竜町の現状と課題について中学生の視点から提案があり、私たちが答弁しました。

こんなまちにしたい!!

## 中学生からの提案

### 「雨竜町のイベントとPR活動について」

#### 《提案》

- ①町民と町外の人が集まるイベントのための企画と情報発信は
- ②ホームページが見づらい、せっかく雨竜には雨竜の強みがあるのに、それを伝えきれていないのでは

#### 《答弁》

- ①過去には、冬のイベント・運動会・暑寒まつりなどありましたが、人口減少により、イベントが縮小・中止になりました。皆さんでいろいろ知恵や意見を出し、イベントが開催できるよう町にアピールすることが必要。
- ②文字だけでなく、図や写真等を取り入れ、わかりやすくするよう心がけていかなければならぬと思います。



### 「新しい遊び場について」

#### 《提案》

メモリアルパークは、年齢制限があり、体を動かして楽しめる場所が少ないとから、様々な世代が交流できる場をつくり、観光客を増やし、雨竜町を盛り上げるため、追分グラウンドに中高生向けのアスレチック場（二階建て）とゲートボール場をつくっては

#### 《答弁》

追分グラウンドにアスレチック場をつくるとの事ですが、場所や規模、また、管理の面で、特に冬場の事を考えると難しい提案のように思えます。本町の人口減少などの問題もあるなか、中高生から年配者まで寄り添える場所づくりの提案で明るく楽しい期待のもてる内容であったと思います。



### 「雨竜町の人口減少について」

#### 《提案》

人口減少問題を解決するために、雨竜町の豊かな自然などのいいところを様々な人に知ってもらう機会を作り、関係人口や定住人口を増やすための、雨竜町の魅力を詰め込んだバスツアーを開催しては

#### 《答弁》

本町では暑寒フェスタなどのイベントの開催や若者の定住人口を増やす為に定住促進事業や子育て支援事業など人口減少対策を行っていますが成果が出てない所です。

SNSを利用したバスツアーや、パンフレットでの農業体験の紹介など、みんなが考えた新しい企画に賛同します。



### 雨竜町スイーツ・プロジェクト 「田園の恵みを、手のひらに。」

#### 《提案》

私たち自身で行ったアンケート調査を基に、特産品の「暑寒メロン」を使ったスイーツの開発を町全体で取り組み、地域活性化を図りブランド力発信のためにイメージキャラクターなどの作成をしてみては

#### 《答弁》

暑寒メロンは時期が限られているが、時代に合った商品開発が必要であるため、今回のアイデアを特産品協議会にも伝え、皆さんと一緒に取り組めたらいいと思います。また、ブランド力発信に必要なキャラクターのアイデア等も一緒に考えていきたい。



## おもな議会のうごき（11月～1月）

### 11月

- 5日 出張カフェ  
9～11日 中空知町議会議長連絡協議会  
道外行財政制度政務調査  
(三重県多気町)  
12日 全国町村議会議長会全国大会  
(東京都)  
23日 雨竜神社新穀感謝祭

### 12月

- 5日 雨竜消防団幹部消防行政懇談会  
9日 第4回定例会  
16日 中学生議会  
17日 商工会年末懇話会

### 1月

- 7日 雨竜消防団出初式  
11日 はたちを祝う会  
13日 商工会新年交礼会  
15日 第1回臨時会  
19日 第1回空知町村議会議長会  
役員会(栗山町)  
21日 出張カフェ  
22日 新十津川町議会・雨竜町議会  
議員意見交換会

### 会議の開催状況

議会運営委員会	2回
行政常任委員会	2回
議会広報広聴特別委員会	4回
議員定数等検討特別委員会	3回

## きむらの編集後記

令和8年も一ヶ月が過ぎました。昨年12月26日からの大雪・雨・吹雪と、年末年始は大変な思いをされたことだと思います。元旦に年賀状が届かなかったことは記憶にありません。(一部届いたところあり)

12月15日に中学生議会を議場で開催いたしました。中学生議員が4班に分かれて、住みよい活気ある町づくりのための提案をいただき、我々議員も中学生議員に対して答弁させていただきました。非常に勉強させられる場面でした。

今は一年で最も寒さが厳しい時期ですが、皆様お身体をご自愛され、今年一年皆様にとって健康で希望あふれる年になるよう、ご祈念申し上げます。

## 雨竜町議会議員定数等 検討特別委員会の設置

本町議会では、議員定数と議員のなり手不足の大きな要因の一つともいわれている議員報酬を主として調査・検討するため、特別委員会を第4回定例会で設置し、将来を見据えた本町議会のあり方について協議を行っております。



沖田副委員長 須見委員長

【次回の定例会は3月に開催します】

## 傍聴をお待ちしています！

日程は、新聞折込チラシやホームページでお知らせします。